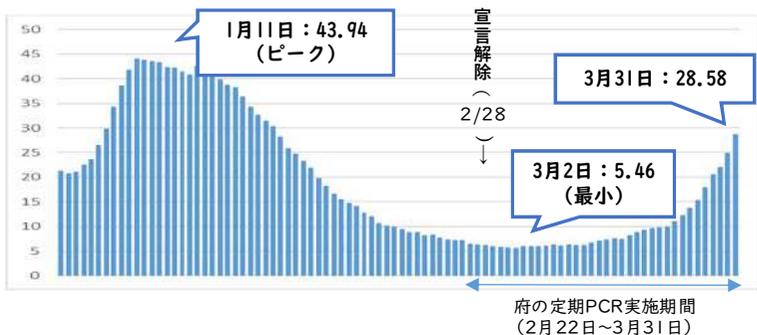


4月以降の高齢者施設等の従事者への定期PCR検査について

資料3-2

府内の感染状況等

直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数



1月11日をピークに減少するも再び増加

高齢者施設関連
クラスター発生数

月	施設数
1月	43施設
2月	18施設
3月	25施設 (31日現在)

クラスター発生が継続

定期PCR検査実績 (大阪府保健所管内分)

3月31日時点	施設数	人数
検査対象数	約1,450施設	約40,000人
検査実施数(実)	638施設	23,812人
検査実施数(延)	1,164施設	43,960人
陽性者数	16施設	16人

※政令市・中核市実施分を除く

陽性率:0.04%

- ◆ 府管轄では定期PCR検査で、16施設・16例の陽性者が判明した(陽性率は0.04%)。
- ◆ 無症状の陽性者を早期に探知し、就業制限できたことにより、新たな陽性者が確認されず、クラスターの未然防止に成功したと考えられた事例や、速やかに全数検査に繋がったことにより、感染拡大を最小限にとどめることができたと考えられる事例などがあつた。
- ◆ 定期PCR検査を実施することにより、感染拡大防止に関する施設側への意識向上に対する一助となっている。
- ◆ 3月の高齢者施設関連クラスター発生数は、新規陽性者数が減少した2月と比べて増加しており、今般の新規陽性者数の急増に併せて、クラスターの更なる増加が見込まれる。
- ◆ 3月22日付厚労省事務連絡にて、4月から6月にかけて、新たな集中的実施計画に基づく検査を定期的実施するよう求める要請があつた。

→ 今後の方針 : 4月以降も高齢者施設等従事者定期PCR検査を継続実施する

- ◆ 実施期間:4月5日から6月30日(予定) *長期連休後の感染状況や高齢者に対する新型コロナのワクチン接種の進捗等を踏まえ継続判断
- ◆ 大阪府保健所管内の高齢者・障がい者・救護施設の入所施設等の従事者を対象に、定期的に検査を実施
※政令市・中核市について同様の取組みを要請